

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公開番号】特開2018-207517(P2018-207517A)

【公開日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2018-050

【出願番号】特願2018-153742(P2018-153742)

【国際特許分類】

H 0 4 N	21/431	(2011.01)
G 0 6 F	3/14	(2006.01)
G 0 6 F	3/0481	(2013.01)
G 0 6 T	19/00	(2011.01)
G 0 9 G	5/00	(2006.01)
G 0 9 G	5/377	(2006.01)
G 0 9 G	5/22	(2006.01)

【F I】

H 0 4 N	21/431	
G 0 6 F	3/14	3 1 0 A
G 0 6 F	3/0481	
G 0 6 T	19/00	3 0 0 B
G 0 9 G	5/00	5 1 0 V
G 0 9 G	5/00	5 5 5 D
G 0 9 G	5/36	5 2 0 M
G 0 9 G	5/00	5 3 0 M
G 0 9 G	5/22	6 3 0 D
G 0 9 G	5/22	6 3 0 Z
G 0 9 G	5/00	5 3 0 T
G 0 9 G	5/00	5 5 0 C
G 0 9 G	5/00	5 1 0 H

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月2日(2020.10.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

仮想空間を提供するヘッドマウントデバイスにおける表示を制御するためにコンピュータで実行される方法であって、

前記ヘッドマウントデバイスのユーザの操作に応じた映像を表示するための映像信号を、前記ヘッドマウントデバイスに送信するステップと、

前記コンピュータと通信可能に接続されている一つ以上の表示端末に前記映像信号を送信するステップと、

前記映像信号に基づいて前記一つ以上の表示端末に表示される映像に対して与えられる視聴者応答を前記一つ以上の表示端末から受信するステップと、

前記ヘッドマウントデバイスに前記視聴応答を表示させるステップと、を含み、

前記表示させるステップにおいて、前記ヘッドマウントデバイスに表示させる前記視聴者

応答は、前記ヘッドマウントデバイスによって提供される前記仮想空間上において表示されるオブジェクトの表示よりも向こう側に表示される、方法

【請求項 2】

前記表示させるステップは、前記視聴者応答を、透明な状態で表示させる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記表示させるステップは、前記仮想空間上において表示されるコンテンツの表示が終了する場合に、前記視聴者応答を表示させる、

請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記受信するステップは、前記視聴者応答を複数受信し、

前記表示させるステップは、前記仮想空間上において表示されるコンテンツの表示が終了する場合に、前記受信した複数の視聴者応答を順次表示させる、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の方法をコンピュータに実行させる、プログラム。

【請求項 6】

請求項 5 記載のプログラムを格納したメモリと、

前記プログラムを実行するためのプロセッサとを備える、情報処理装置。